



チカラコブたん

まちづくり未来会議 レポート

■地域の力こぶ増進計画・ニュースレター■

富士市では、「地域の力こぶ増進計画（富士市まちづくり活動推進計画）」の検証と今後の方向性を発見するために、平成 28 年度に【役員ワークショップ】と【未来会議】を開催し、多面的な情報の収集を行いました。

今回は、まちづくり未来会議にスポットを当てて、この一年の活動を報告します。

未来会議の流れ(全3回)

- 第1回 地区のまちづくりへの理解を深め、**自分とのつながり**を考える
- 第2回 まちづくり活動に携わる人から話を聞き、その**意義や役割**を考える
- 第3回 まちづくりの方向性への理解を深め、**新たな担い手**となる意識を高める

未来会議って？

次代を担う若い世代の意見や提案を反映するために、若者世代(10~40代)の参加により開催しました。

メンバーは？

- ・富士市立高校生：11名
- ・常葉大生：5名
- ・FUJI 未来塾生：5名



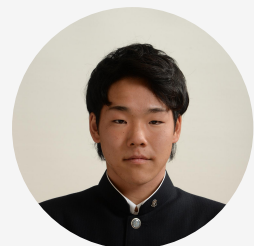
まちづくり未来会議へ参加してくれたメンバー（高校生・大学生・社会人、計 21 名）のうち2名が、まちづくりについて感じたことや思いを話してくれました！

① 参加した動機

未来会議に参加した動機というのは、先生から誘われた、というのが正直なところだ。

しかし、その誘いをなぜ受けたのかという理由は、自分の中にしっかりと持っている。2 年の時、究タイムという授業で「市役所プラン」という活動を行い、その活動を通してまちづくりの面白さや難しさを十分に感じる事ができた。私は、その経験を生かし、もっと活動がしたいと思っていたから、未来会議に参加することを決めた。

富士市立高校・
ビジネス探究科
3年 待木洸平さん



② 参加してよかったと思うこと、楽しかったこと

参加して良かったと思ったことは、常葉大学の学生さん達や F U J I 未来塾の方々とたくさんの意見交換をすることができ、人それぞれの考えや捉え方に触れることができたこと。同じテーマで話し合っても意見は十人十色であり、だからこそまちづくり活動に限らず何か活動をしていくうえで、お互いがお互いの意見を尊重し合い、協力することが大切だということを感じることができた。

③ 富士市のまちづくりについて、これから自分がしていきたいと思っていること

富士市のまちづくりについて、これから私がしていきたいと思っていることは、今はまだ高校生なので市や町内のイベントに積極的に参加したり、同年代の人たちに参加を呼びかけたりすることだ。これからの社会を担っていくことになる中高生が積極的に市や町内の活動に参加していくべきだと思う。また、企画された活動でなくても、道路に落ちているゴミを気づいたときに拾うなど、富士市を住み良いまちにできるような取り組みを行っていきたい。そして、私が将来働くようになったときには、まちづくり活動の主体となって、富士市をより良いまちにしていけるような活動をしていきたい。

① 参加した動機

参加した動機は大学側からこのようなものがあるので出てみないかと言われたのがきっかけでした。大学生であり富士市について知らないことが多いので、富士市について少しでも知ることができるのではなにか思い、参加しました。

常葉大学・
社会環境学部
荒川清哉さん



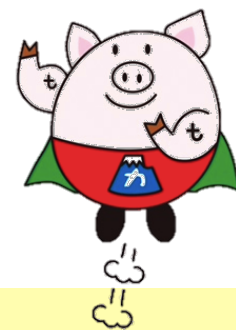
② 参加してよかったと思うこと、楽しかったこと

まず、自分がこうなってほしいと思うような意見を述べる場所がなかったためこのような会議が開かれることに驚き、その場で参加者と話し現在の問題や自分たちが描く理想を、それらについて年代ごとにどのように考えているかを聞くことができました。年代によっては同じ言葉でも全く違った考えを持っていたりなどすることがわかり、1つの言葉においても多くの意見が必要ということを感じることができとてもいい経験になりました。特に若者の意見が届きにくくなっているため、このような会議に出席し意見を述べる、話し合うということが何よりも重要なのではと感じました。

③ 富士市のまちづくりについて、これから自分がしていきたいと思っていること

物事への関心や考え方は人それぞれであり全く異なるため、若者と大人の距離を縮めたいと感じました。そのために今後、このような会議が開かれるようなことがあれば参加し、多くの意見を述べ、多くの意見を聞き双方の理解、橋渡しができたらと考えます。そうすることでまた新しい発見や提案が生まれたり、何度も会議を開催することに繋がると感じます。

次号も
楽しみに♪



【発行】平成 29 年 4 月
 【発行者】富士市市民部まちづくり課
 富士市永田町 1 丁目 100 番地（富士市役所 3 階）
 ☎ (0545) 55-2887
 🌐 <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>



第1回

地区まちづくりと自分とのつながり

4つのテーマについてディスカッションを行い、出た意見をまとめました。

知っている地区まちづくり活動

地域活性化(世代交流) マラソン大会、体育祭、たこあげ大会、駅伝大会、防災訓練、まちづくりセンターのおまつり	子供向けの活動 ドッジボール大会、子ども会(市子連)、本の貸出し	興味関心、宣伝 漁業体験、商店街のイベント(トラック市、バル) 岳鉄レンジャー
公共の施設・景観美化 奉仕作業、美化活動	地区の伝統 お祭り、どんど焼き、福祉推進会敬老会	趣味、趣味探し 茶道教室、料理教室、陶芸教室、書道教室、文化祭、木彫作品の展示

地区まちづくり活動の印象

良いイメージ ご近所の健康確認 親子で参加 活発な地区は活発	悪いイメージ 一部強制、イヤイヤ、手間がかかる、準備が大変、お金がかかる
--	--

●高齢者が多い、参加者が同じ
→参加人数が少ない
●大人が主体で運営
→中高大学生が楽しむ(楽しめる)ものが少ない

まちづくり協議会を知らない
何をしているかはっきりわからない
いつ活動が行われるのか知らない

- 世代に合わせる
- 子供の意見を聞いてほしい

ロコミ
ポスターの掲示
情報提供(ネット、SNS)
回覧板・広報・広告を出す
告知をたくさんする

- 宣伝が人目に触れにくい
- まわりに知らせる(広める)ことはあまりない

まちづくり協議会長だったらしてみたいこと

交流 区、町内会のメンバー把握 食事会(芋煮会) スタンプラリー 地区のお得な情報を提供 交流が深められる場を提供 文化祭後の打ち上げ	スポーツ マラソン大会 地区対抗スポーツ大会 サッカー大会 一体感、活気が出るもの
祭り 老若男女でキャンプ 他の地区と一緒に祭り 屋台の体験 協力、地域交流	イベント 皆で楽しめる 多世代が楽しめる 三世代が一緒にできる 子どもから大人まで参加できる 多世代が関わり楽しめる
	美化 ゴミ拾い

多くの人に地区まちづくり活動に参加してもらうために

参加しやすくする工夫 早めに日程を知らせる 行事を行う際は強制参加! 参加意欲を高める、 参加しやすい雰囲気(どんな世代でも) 参加したらいいことがある(景品等)	参加しやすい内容 コミュニティを広げる 参加して楽しいことをやればいい 新しいイベントなどをする いろいろなジャンル 定期的にする
---	---

第2回

まちづくりの目的や意義

まちづくり協議会会長(松野・西森共二さん、天間・加藤松さん、鷹岡・松田幸雄さん)をゲストにお迎えし、各地区での取組や会長さんの役割についてお聞きしました。その上で、印象に残ったことや、地区まちづくりの目的や意義について話し合いました。

若い世代が自ら行動することが大事
役割を持ち、達成感を感じてもらおう

目指すもの ・人との関わりを大切にしたい ・地域の人たちが協力し合い、健康で幸せな生活ができるように	地区まちづくり活動の目的 ・人と人をつなぎ地区を活性化する ・まちづくりの原点は地区を知ること、愛すること
---	--

●ひとそれぞれ、生まれ考えは異なるが **住んでいる場所は同じ**

- ①新しい地域の良さを見つける
- ②よそ者意識、腰かけ意識をなくしてふるさと意識を持つ
- ③各世代の声を取り入れた行事づくり
- ④情報の共有、宣伝方法を考える

第3回

まちづくりのアイデアを考えよう

人と人をつなぎ、地区を知り、愛し、活性化するために、自分たちに何ができるのか話し合いました。また、多くの人に参加したい、やってみよう、楽しそうと思ってもらえるような企画を考えました!

① 新しい地域の良さを見つける

タイトル	歩く・キッカケ・発見!		
ねらい	歩くことをキッカケとして地域の場所や人を発見! そこから交流をして新しいことを見つける→最終的にやりたいイベント企画をめざします。	想定日時	昼
特徴(ウリ)	キッカケをはじめとして、まちづくりにおける良いサイクルを起す! (→そして) どんどん、その中で良さを知っていく!	会場	比奈、原田
内容	地域を多世代で歩く、交流イベント。場所・人を知ることで、地域の良さを発見する。		

② ふるさと意識を持つ

タイトル	伝統行事を活性化させる		
ねらい	今ある地域の伝統を生かして、地域をかせいかすることをめざします。	想定日時	夏、秋
特徴(ウリ)	子どもがやるから親とか大人が来る 地域について知ってもらえる	会場	学校、まちセン
内容	祭りで店を出す(食べ物)、中高生に豪華景品を出す、朝から夜まで楽しめる、中高生が店を出す、中学校で文化祭を行う		

③ 各世代の声を取り入れた行事づくり

タイトル	運動会		
ねらい	他者へのフォローを学ぶ(思いやりの心)、大人と若者の交流の場が生まれる。 自分のできること・できないこと、他人のできること・できないことをめざします。	想定日時	体育の日
特徴(ウリ)	地区でチームに分かれてやる。他者へのフォローを学ぶことができる競技(←電子化した回覧で早く情報を伝える) 食事会(給食)。ギネスブックチャレンジ~地域のものを使う	会場	小学校
内容	ギネスブックチャレンジが地域ならではのもの		

④ 情報の共有・宣伝の方法

タイトル	たまり場トーク in 富士		
ねらい	皆が集まり意見交換する場をつくる! 皆が顔を合わせることで、防犯・防災につながる! 世代間交流!をめざします。	想定日時	-
特徴(ウリ)	色々な工夫(情報、ぬり絵やクーポン付)のしてあるチラシ 若い世代を含めた広い世代へ情報発信できる。SNSの活用。	会場	-
内容	たまり場を設けて、世代交流を兼ねた話し合いを行い、情報の共有、宣伝を主な目的とする。地区に対してのイメージを気軽に交換し合う! 集まってもらった人達に色々な工夫(表に伝えたいことを記載する、裏面にぬり絵やクーポンをつける)のしてあるチラシを配る。SNS利用。開催する地区に協力してもらおう。		